

世界認定推進の日

認定：国際貿易の未来を支える



2023年6月9日

#WAD2023



認定：国際貿易の未来を支える

貿易の技術的障壁を取り除く

信頼は、国内に限らず、外国との貿易においても、取引関係において必要不可欠な要素となっています。

世界経済は長期にわたり高品質なインフラストラクチャを構築するため、規格、規制、計量、および認定された適合性評価の統合システムに依存してきました。この統合システムにより、製品やサービスを調達する消費者、企業及び規制当局は期待するものを確実に得られるようになり、貿易を支えるために必要な信頼を生み出してきました。

信頼性を示し、貿易の技術的障壁（TBT）を取り除くことで、高品質なインフラは企業に幅広い国際市場へのアクセスを提供し、同時にそれらの経済圏からの輸入品の品質と安全性を向上させてきました。規格の利用者は増え続けており、2021年には172万5,754の企業がマネジメントシステム規格の認定された認証を取得し、前年比では20%増¹となっています。2022年の認定された試験所と検査機関の数は、それぞれ88,600と14,000に増加しています。



経済協力開発機構（OECD）とアメリカ合衆国商務省の推計によると、規格とそれに関連する適合性評価は国際貿易の80%に影響を与えています²。イギリスの調査機関である経済ビジネス・リサーチ・センター（CEBR）は、規格が同国の輸出に年間61億イギリスポンド貢献していると推定しており³、ニュージーランド経済調査研究所が実施した独自の調査では、認定が輸出に45億ニュージーランドドルの輸出割増金をもたらしていると報告しています⁴。

どのような要素が国際貿易に影響を与えるか？

このような状況ではありながら、製品の品質はかつてないほど厳しくチェックされ、ブランドオーナーが直面するリスクが次のさまざまな理由で高まっています：

- サプライチェーンがより複雑になり、求められる要素が規制毎に大きく違ってきている。
- 武力紛争や世界的なパンデミックなどの地政学的要因が原材料調達に影響を与え、確立された品質保証の方法に支障をきたしている。
- サイバーセキュリティ、人工知能、データ保護、偽物や製品の真正性などに関する懸念が高まっている。
- 持続可能性、産地、健康及び倫理に関する消費者の意識は高まっており、ブランドは自社の供給ネットワークに対する理解を深め、監視の強化が強く求められている。
- 技術と通信ネットワークによって実現された透明性が信頼を勝ち得る、あるいは失う手段を変えていく。

したがって、産業界には消費者の信頼を引き続き醸成させていく責任を担っています。今年の世界認定推進の日のテーマは、未来のグローバルな貿易システムにおいて産業界を支えるため、認定がこれらの新たなトレンドにどのように対応していくかに焦点をあて決定されました。



¹ ISOサーベイ2021年

² 世界銀行、Impact of Quality Infrastructure Reform、2014年

³ The Economic Contribution of Standards to the UK Economy、2022年

⁴ Examining the way IANZ supports the New Zealand economy、2017年

規制当局のニーズを支える

リードタイムの短縮、製品やサービスの拡充及び消費者のニーズに合わせた体験など、消費者の期待の高まりによってサプライチェーンは複雑になってきています。そのため、企業は供給ネットワークのマネジメントと洞察力を改善する必要に迫られています。ガートナー社によると、サプライチェーンのリーダーの50%以上が設備、製品設計、ビジネスモデル及びパートナーなど業務モデルのほとんどの側面において、今後5年間で複雑性が増すと予想しています⁵。



これと並行して、規制アプローチの分断が進んでいる証拠があります。国際貿易やコストへの影響については多くはわかっていないものの、OECDは20%から70%の関税に相当するコストがかかると見積もっています⁶。国際会計士連盟は、規制の乖離により生じるコストは平均して年間売上高の5~10%と推定しており、結果として、調査対象となった企業の51%がリスクマネジメントに投資するリソースが減少したと回答しています⁷。

規格、計量及び認定は、取引のコストを削減し共通の基準を提供することにより、国際貿易の基盤となっています。追加の試験、検査、認証、妥当性確認または検証を必要とせず、輸入国において製品やサービスを経済圏間で流通させることを可能にする信頼のパスポートを提供しているのです。

また、技術的な製品安全、グッドガバナンス、気候変動、エネルギー、公正な市場、国民の信頼など、幅広い政策分野で規制当局をサポートするために利用されるようになってきています。世界貿易機関（WTO）、国際連合工業開発機関（UNIDO）、OECDなどの機関は、各国の枠組みで国際規格をより多く採用し、それを遵守することで国際的に合意形成された規制の利用がより進んでいくことを示唆しています。



ケーススタディ: 相互承認協定により、太陽光発電インバーターメーカーのオーストラリアへの製品輸出が実現

ある欧州の太陽光発電インバーターメーカーは、オーストラリアへの製品輸出への要請に対して、スペインの認定機関ENACの認定を受けた認証機関、SGS Tecnosからの認証を受けました。オーストラリアの事業者は、オーストラリアとニュージーランド合同の認定機関であるJAS-ANZによる認定を要求していました。国際認定フォーラム（IAF）の相互承認協定（MLA）により、IAF MLA署名国間で認定された適合性評価結果の相互承認は保証されていることから、JAS-ANZはSGS Tecnosが発行した認証書がオーストラリアで承認されることを宣言する声明を発表しました。

この声明の後、オーストラリアの企業はSGS Tecnosの認証書を受け入れました。このように、認定と相互承認はメーカーに新たな市場機会をもたらすと同時に、輸入国で再試験を行う追加の貿易コストを回避することができます。

⁵ How to Reduce Supply Chain Complexity, 2022年

⁶ International Regulatory Co-operation and Trade, OECD, 2017年

⁷ IFAC, Regulatory Divergence: Costs, Risks, Impacts, 2018年

変化する世界への対応

パンデミックを取り巻く前例のない状況の発生により、グローバルなサプライチェーンにおける新たなリスクと課題が顕在化しました。これにより、企業は労働力や原材料の不足、インフレ圧力、サプライチェーンの変化といった問題に直面し、より柔軟で機敏な対応を迫られています。品質保証の確立されたモデルでさえも、活動の制限による影響を受けています。

信頼性のレベルとサプライチェーンの流動性を維持するために認定と適合性評価がどのように適応したか、これを示す例として、パンデミックの中、監査・審査・評価を遠隔で行う技術（遠隔技術）の利用が増加したことが挙げられます。国際標準化機構（ISO）、国際試験所認定協力機構（ILAC）、IAF が共同で実施した調査では、「遠隔技術の利用の増加やこの変化に進んで対応することが新しい監査 / 審査 / 評価プロセスの促進をもたらすか」という質問に対して、91.5%の回答者が「同意」または「やや同意」と回答しました⁸。

さらなる新しい技術の導入という点では、遠隔 / 現地にとどまらず、センサーの利用、データ供給、その他多くの要素の導入によって、監査がさらに進化・発展すると予想されています。これは、監査を利用する人々、さらに、保証と業務改善の両方を取り入れる人々にとって大きな価値と利益がもたらされます。

これらのテーマは UNIDO も議論を展開しており、「持続可能性のためのスマート高品質インフラ」⁹において、「デジタル技術とイノベーションによって、高品質インフラとその組織はスマート高品質インフラと定義されるものに変化し、仕事の方法の変化やパフォーマンスの向上、新しいタイプのサービスの実現が可能になる」と述べられています。



遠隔技術の活用による監査結果の向上

上述のIAF、ILAC、ISOが共同で実施した遠隔審査手法の使用に関する調査では、大多数が完全遠隔または一部遠隔を用いた監査・審査・評価が好まれることが明らかになりました。4000以上の適合性評価に関する横断的分野からの回答では、遠隔による監査・審査・評価は現地でされるものと同等に信頼でき、その結果として、将来的にも継続するまたは増加するであろうという明らかな傾向がみられました。

遠隔で行うことの利点としては、移動時間やコストの削減、審査時間の効率化、二酸化炭素排出量の削減など、多くが挙げられています。本調査では、その時点での遠隔技術の利用に対する意識を把握すると同時に、審査等の利用者、適合性評価機関、監査員、審査員からは幅広い提言、アイデア、提案が集まりました。

より効果的な監査結果のためには技術をどのように導入するか、改善を重ねることが必要です。この改善のために、国際的な高品質インフラのメンバーは、フィードバックを関連文書やプロセスにどのように取り入れるかについて今後、検討していく予定です。



⁸ IAF/ILAC/ISO 遠隔監査/審査/評価に関する調査報告書（参考報告書）、2021年

⁹ https://hub.unido.org/sites/default/files/publications/online_SMART_QI_borchure.pdf、2022年

技術革新と新しいテクノロジーへの信頼を可能にする

新しいテクノロジーの導入が増加しています。国際貿易業務の多くは依然として書面でのやり取りを基本としていますが、マッキンゼーによると、デジタル化によって全世界の GDP は過去 10 年間で 10.1% 増加したと推定したことや、世界貿易機関 (WTO) によると、国際貿易にかかるコストは 1996 年から 2014 年の間に 15% 減少したことからわかるように、新しいテクノロジーがさらなるコスト削減に重要な役割を果たすとされています¹¹。しかし、新しいテクノロジーは新たな脅威とガバナンスの課題をもたらします。サイバー犯罪は指数関数的に増加しており、2021 年には世界経済に 1 兆米ドル以上の損失をもたらしました¹²。世界的な詐欺事件の被害額は、133 の国・地域で 36 億米ドルにのぼると推定されています¹³。

人工知能 (AI) やブロックチェーンの登場により、多数の規格やプロトコルが開発されています。プライスウォーターハウスクーパース (PwC) の世界的な調査によると¹⁴、既に回答者の 80% 以上がブロックチェーン技術と何らかの関わりがありましたが、半数近くは規制の不確実さやユーザー間での信頼の無さが導入の最大の障壁であると考えていました。この調査では、ブロックチェーン間で標準化や相互運用性が潜在的に欠けていることについての懸念も明らかになりました。

政府や組織は、これらの技術を模索し始めています。例えば、欧州連合の AI 法は、AI に関する最初の包括的な規制スキームの確立を目指しています。



スマート・マニュファクチャリングは、従来の製造プロセスの効率を高めるために、新たな先進技術を使用することによって、より機敏な産業基盤をもたらしました。これにより、自動化、ビッグデータ、モデリング、接続機器及びその他の技術を使用した製造プロセス追跡、効率向上をもたらし、技術主導型の戦略によるスマートで持続可能なバリューチェーンの作成を推進しています。

認定された適合性評価はすでに、ブロックチェーン技術や AI が利用されている多くの分野で、商品やサービスの品質保証に信頼性をもたらしています。これらは、プロセスの透明化と追跡可能な検証に関する同様の原則を共有しています。ISO/IEC 27001 のような確立された規格は、電子媒体やハードコピー、あるいは第三者サプライヤーにまでおよぶすべてのビジネスデータのリスクを特定し、管理しています。

UNIDO が出版した「新しいデジタル時代のための適合性評価の進展」には、第 4 次産業革命における認定された適合性評価の課題と機会についてさらに詳細に記載されています¹⁵。このトピックは ILAC と IAF によるポッドキャストでも議論され¹⁶、信頼できる効果的で価値のある認定された適合性評価を提供する上でのテクノロジーの役割が検討されています。

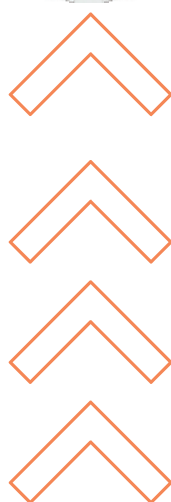


ChatGPT への質問

OpenAI のチャットボットに、認定が将来の経済の構築にどのように役立つかを尋ねたところ、以下のような回答がありました。

認定は多くの方法で将来の経済を構築するのに役立ちます。例えば以下が挙げられます。

- 革新と進歩の促進：認定システムは、新しい製品、サービス及び技術が品質と安全性の特定の規格を満たしていることの保証に役立ち、革新と進歩を促進することができます。
- 持続可能性の促進：認定は、企業や組織が環境に優しく持続可能な方法で運営されていることを保証するために使用されます。これにより、環境への悪影響を減らし、持続可能な経済成長を促進するのに役立ちます。
- 世界貿易の促進：認定は、商品やサービスが特定の国際規格を満たしていることを示すために使用されます。これにより、企業が国際貿易に参加し、市場を拡大することが容易になります。
- 生活の質の向上：認定は、医療や教育などの製品やサービスが特定の規格を満たしていることを確認するために使用されます。これにより、人々の生活の質を向上させ、全体的な経済成長に貢献することができます。
- 熟練した労働力の開発：認定プログラムは、労働者が効果的に仕事するために必要な資格とスキルを持っていることを確認するために使用されます。これにより生産性と競争力が向上し、将来の経済のために熟練した労働力を構築するのに役立ちます。



¹⁰ <https://www.mckinsey.com/capabilities/mckinsey-digital/our-insights/digital-globalization-the-new-era-of-global-flows>, 2016年

¹¹ https://www.wto.org/english/res_e/publications_e/world_trade_report18_e.pdf, 2018年

¹² https://www.mcafee.com/de-ch/consumer-corporate/newsroom/press-releases/press-release.html?news_id=6859bd8c-9304-4147-bdab-32b35457e629, 2020年

¹³ The Global cost of Fraud - Occupational Fraud 2022: A Report to the Nations, 2022年

¹⁴ <https://www.pwc.com/gx/en/industries/technology/publications/blockchain-report-transform-business-economy.html>, 2020年

¹⁵ https://hub.unido.org/sites/default/files/publications/UNIDO%20Conformity%20Assessment_Brochure_2020.pdf, 2020年

¹⁶ https://ilac.org/latest_ilac_news/third-accreditation-matters-episode-released/, 2022年

意識の高い消費者の台頭

購入した商品の由来を気にする消費者が増えています。多くの消費者は、商品購入によって人間による搾取や環境破壊の仕組みに意図せず加担したくないと思っています。そのため、そのような懸念に対抗することを目的とした保証スキームが、しばしばエシカルな取引を口実として生まれています。しかし、これらのパフォーマンスが期待を下回ることが徐々に明らかになってきています。

米国の成人を対象に Business Sustainability Index が実施した最近の調査では、3分の2 (66%) が持続可能な製品に対してより多くの金額を進んで支払うことが明らかになりました¹⁷。しかしながら、消費者のほぼ2人に1人は、信頼し企業によるコミットメントを知らないか、気候変動や持続可能性の問題について全く企業を信頼していないとも、デロイトにより報告されています¹⁸。



ケーススタディ:

欧州宇宙機関による ISO 27001を使用したデータの保護

20の加盟国を持つ国際機関である欧州宇宙機関 (ESA) は、機密情報と機密データを保護するためにISO 27001による認定された認証を採用しています。情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) は、組織がデータのセキュリティを確実に管理し、リスクを最小限に抑え、利害関係者の情報を保護することを可能にします。

規格の利用は、組織がより環境に優しい手法を取り入れるのに役立ちます。認定された適合性評価により、組織が要求事項を満たしていることを保証できます。例えば、大気、水、土壌汚染のラボラトリによる試験や船舶のリサイクルの検査、ISO 14001 環境マネジメントシステム認証があります。これらは、汚染、気候変動の緩和と適応、資源の使用と効率性を含む業務に関連するすべての環境問題について組織が考慮することを要求しています。この認定された適合性評価 (ISO 14001 環境マネジメントシステム認証) に基づき、組織が要求事項を満たしていることを保証できます。2022年12月にISOによって発行された「The Circular Economy」は、これらのツールが現在の課題に対してどのように解決策の一部となるのかを示しています¹⁹。



フランスでは、認証スキームにより、製品は製造された地域により守られていること、それによって購入した商品の原産地と品質に対する信頼を消費者に提供することが保証されています。また、エシカルトレードと責任ある調達認証により、消費者にとっては自身が求める安心感を、労働者にとっては自身が受けるべき保護が得られます。



ケーススタディ:

マレーシアでのWEPLS製品の提供

マレーシアでは、節水製品のラベリングスキーム (WEPLS) が導入されており、サプライヤーに水の使用量を抑えることが可能となる製品の開発と販売を奨励するとともに、節水対策製品の利用可能性に関する世間の認識を高めています。このプログラムにより製品に節水対策の表示を行うには、第三者の認定を受けた試験所で試験を実施する必要があります。

このスキームにより、消費者は信頼できる節水対策の評価に基づいて購入できます。WEPLSの対象となる製品は5種類で、蛇口 (洗面用、シンク用、シャワー用及び洗浄用のもの)、トイレ、小便器、シャワーヘッド、洗濯機です。



¹⁷ Business of Sustainability Index、2022年

¹⁸ <https://www2.deloitte.com/uk/en/pages/consumer-business/articles/sustainable-consumer.html>、2021年

¹⁹ <https://www.iso.org/files/live/sites/isoorg/files/store/en/PUB100471.pdf>、2022年

サプライチェーンの信頼性維持

テクノロジーと通信ネットワークが可能にする透明性は、信頼性の獲得と喪失の方法を変えつつあります。偽の証明書や認証機関に関する問題は、世界の一部において一般的になってしまっています。また、環境・社会・ガバナンス(ESG)パフォーマンスなどの分野に対応する保証制度が普及することは、混乱や「グリーンウォッシング」への非難、ステークホルダーの期待と現場の実態との乖離を引き起こしています。

認定された適合性評価は信頼のための明確な指標となる一方、業界は自身のニーズに応じて発展していくための措置を取り続けています。例えば、IAFの「CertSearch（サートサーチ）」は、有効なマネジメントシステム証明のグローバルデータベースであり、不正な証明書の発行を妨げる、信頼できる唯一の情報源となっています。また、認定された適合性評価は、オンライン評価のような相互評価システムの完全性を確保するためにも導入されています。インドでは、電子取引プラットフォームやポータルサイトにおける、偽のレビューや誤解を招くレビューを抑制するための検討を実施しており、これは国家標準に基づいたものになる予定です。オーストラリアでは、グローバルサプライチェーンにおける商品の追跡のために、確立された既存の制度を、関連する適合性評価データにどのように利用できるかを検討しています。



ケーススタディ:

国際貿易の信頼性を構築するための認定マネジメントシステム認証のデジタル検証サービス

「IAF サートサーチ」は、組織のマネジメントシステム認証について、認証が有効かどうか、認証機関はその規格に対する認証書を発行するための認定を受けているかどうかを判断するために、デジタルでの検証を行います。認証データを 1 つのグローバルデータベースに集約することで、検証プロセスをシンプルかつ効率的に行うことができます。この無料で利用できるサービスは、サプライチェーン管理プロセスを強化し、国内外を問わず貿易の技術的障壁を下げるのに役立ちます。

安全で認知されたソースに適合性評価情報をデジタル化し集約することで、関係者はいつでもどこでも認証情報を確認することができます。同時に、検証プロセスを早め、トレーサビリティを確保し、潜在的な懸念事項を特定するのに役立ちます。2023 年 2 月現在、72 の経済機構の 82 万枚以上の認定された認証書が IAF CertSearch にアップロードされています。

堅牢なサプライチェーンを持つことは、現代のビジネス、特に国境を越えた取引を行う企業にとって不可欠な要素です。サプライヤーの候補が必要不可欠な認定された認証を持っているかどうかを確認することは、信頼できるネットワークを構築する上で重要な要素の一つです。



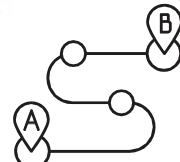
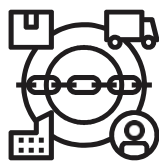
ケーススタディ:

西アフリカでの貿易機会の開拓

キャッサバのバリューチェーンは、西アフリカ諸国経済共同体 (ECOWAS) 地域において重要です。UNIDO が実施した調査では、適合性評価機関がいかにこのバリューチェーンの発展を支え、キャッサバ製品の品質と安全性を向上させているかが明らかにされました。

キャッサバのバリューチェーンを支える 12 の国家認証機関 (NCB) と 6 つの試験所を含む ECOWAS 加盟国における 18 の適合性評価機関は、キャッサバの生産者や加工会社に認められた認証サービスや試験サービスを提供するため、国際的な認定を受ける準備を進めています。これらの認定サービスは、ECOWAS 地域品質マーク「ECOQMARK」を委任された国家認証機関が発行するために必要です。

この取り組みにより、地域内だけでなく、輸出市場でも取引の機会が広がります。また、市場に出回る製品の品質と安全性に対し、消費者の信頼も得られます。





ケーススタディ： グアテマラの有機食品輸出を動かす認定

グアテマラの有機食品の輸出促進を目的とし、政府は海外の大規模な経済圏の基準や要件へ確実に適合するように、ヨーロッパの有機生産に関する規制を取り入れました。この規制は、野菜、畜産物、加工食品の副産物の生産システムとその過程（加工、包装、表示、保管、輸送、商品化など）を対象としています。

有機栽培はグアテマラ経済にとって重要な産業であり、生産者に有利な価格設定を可能にするとともに、環境保全や生物多様性の保護に貢献する場としても重要視されています。

輸出先の経済が求める関連スキームに対する認定された適合性評価が受けいれられると、トレーサビリティと製品の価値が確保されます。このような取り組みの結果、グアテマラからの輸出は生産量を基準として年平均7%の成長を見せています。当初はコーヒーのみが有機製品として輸出されていましたが、現在ではカルダモン、カカオ、マカデミアナッツ、蜂蜜、レタス、インゲン、紅茶、パパイア、ブロッコリーなどの製品も有機製品として輸出されています。

グアテマラでは有機栽培の普及により、小規模生産者同士のつながりが生み出され、全国で6万人以上の農家が組織に加入し、約2万人の常用雇用と8万人以上の臨時・間接雇用が生まれています。輸出の主となる市場は、80%が米国、15%が欧州連合、5%が日本、カナダ、アラブ諸国です。



ケーススタディ： 欧州のオンライン環境における信頼の提供

オンラインにおける信頼の欠如は、電子取引の遂行や革新的な新しいサービスの開発といった変化を制限することにつながります。

欧州規則（EU）910/2014は、消費者、企業、公的機関の間で安全な電子的相互作用のための共通プラットフォームを確立することにより、電子取引の信頼を高め、それによって公共および民間のオンラインサービス、電子ビジネス、電子商取引の有効性を向上させています。

同規則は、トラストサービスプロバイダ（TSP）に「適格なステータス」の獲得を義務付けています。この獲得は、承認されたスキーム（規則がTSPに課すすべての要件事項が評価に値することが実証された認証スキーム）を通じて、認定された認証を得ることを意味します。

概要

規格や認定は、国内および国外との貿易にプラスの影響を与えてきましたが、変化する業界の要求事項に対応し、未来の貿易システムをサポートするために、継続的に進化していく必要があります。また規格や認定は、貿易に関連する SDGs のターゲット (SDG1: 貧困をなくそう、SDG2: 飢餓をゼロに、SDG3: すべての人に健康と福祉を、SDG5: ジェンダー平等を実現しよう、SDG8: 働きがいも経済成長も、SDG9: 産業と技術革新の基盤を作ろう、SDG10: 人や国の不平等をなくそう、SDG14: 海の豊かさを守ろう、SDG17: パートナーシップで目標を達成しよう) を支える重要な役割を担っています。



世界認定推進の日 2023 のテーマは、国内外での高品質インフラが、技術の進歩、消費者行動や規制環境の変化、新しい信頼メカニズム、ビジネスモデルの変化にいかに対応していくかを示すために選ばれました。認定が取引ニーズをどのようにサポートできるかを知りたい場合は、お近くの認定機関にご連絡ください。

詳細情報

www.publicsectorassurance.org では、認定された適合性評価が、中央政府、地方政府、規制当局によって世界中でどのように使用され、利益をもたらしているか、その例をご覧ください。

詳細情報

ILAC 相互承認協定 (MRA) の詳細と署名者のリストは、ILAC のウェブサイト (<http://ilac.org/ilac-mra-and-signatories/>) からご覧いただけます。



The ILAC Secretariat

 +61 2 9736 8374

 ilac@nata.com.au

 www.ilac.org

 [@ILAC_Official](https://twitter.com/ILAC_Official)

IAF Multilateral Recognition Arrangements (MLA) に関する詳細情報および署名者のリストは、IAF のウェブサイト (<https://iaf.nu/en/about-iaf-mla/>) からご覧いただけます。



The IAF Secretariat

 +1 (613) 454 8159

 iaf@iaf.nu

 www.iaf.nu

 [@IAF_Global](https://twitter.com/IAF_Global)



<https://www.youtube.com/user/IAFandILAC>